

平成15年度選手宣誓

1. 危険の確認

私はF I S及びSAJDカレンダー競技の実行に伴う危険や、トレーニングやレース中に起こり得る重力による危険を十分に知っており、認識している。私は自分の体力の限界に挑戦して優秀な成績をあげようとするに危険があることを認識している。私はこのような競技に参加することによって、生命と身体を危険にさらす可能性があることを知っており受け入れている。さらに私は競技やトレーニングエリア内で上記のような危険が何者かを脅かすかもしれないことを承知している。また上記の危険には環境条件、技術道具、大気の影響が、自然もしくは人工的障害物と同様に含まれることをも承知している。私はある動作や行動は常に予測・制御できる訳ではなく、従って安全対策によって防ぐこともできないのを承知している。

2. 危険の承認

私は競技またはトレーニングコースの自分にとっての難易度は、自分が判断することであることを承認している。私は自分でインスペクションをして何か安全性について気付いたことがあれば直ちにジュリーに知らせることに同意する。競技で実際にスタートすることやトレーニングに参加することは、コースの状況と適切さを私が受け入れたことを示す。また私は自分の使用する用具の選択とコース上のライン取りとライン処理の能力については、自分の責任であることにも同意する。

3. 個人的責任

私は自分がトレーニングや競技に参加した結果、第三者の怪我や道具の破損という損害が起きた場合、第三者の損害に対して自分に個人的責任があり得ることを承知している。私は自分の道具の点検や取締りが、大会組織の責任ではないことに同意する。私は競技に参加する前に、自分が競技の規則について詳しく知る必要があるということに同意する。

4. 論議の解決

私は、(特)日本障害者スキー連盟の決定に対する不服申立は、司法裁判所に請求を開始する前に、日本スポーツ仲裁機構(J S A A)の「スポーツ仲裁規則」に従ってなされる仲裁により解決されるものとするに同意する。私がこの決定に同意しない場合は、どこか適切な司法裁判所に持ち込むか、再度請求するかは私の自由である。この選手宣誓は法的行動に従事する可能性のある親類、人格代理人、相続人、後継者、受益者、最近親、譲り受け人等に対しても拘束力を持つ。

5. 選手の自覚

障害者スポーツの頂点を目指す者の務めとして、自らが、障害者スポーツの発展・普及に寄与するための規範となる発言及び行動をしなければならないことを認識している。

私は上記の選手宣誓を読みました。

<日付> 年 月 日	<署名>
---------------	------

*未成年の選手に対して：これは、上記の各条項、条件への選手の同意を私が親・保護者として承認していることを証明するものである。

<日付> 年 月 日	<選手との続柄>	<署名>
---------------	----------	------